

## 生育は「茎数不足傾向」

### 1. 水稻の生育状況(あきたこまちR)

前回の調査日(6月9日)以降、少照傾向であったことから草丈は伸長し、茎数は平年を下回っております。また、葉齢からみた生育は平年に比べ「1~2日程度早い」となっております。茎数が不足しているほ場については浅水管理を徹底し、分けつの促進に努めて下さい。

藻類や表層はく離、還元障害については回復傾向にありますが、生育停滞気味の圃場も見受けられますので、以下を参考に今後の管理を心がけてください。

水稻定点調査圃の生育状況(6月18日) ※あきたこまちRの平均田植日は5月21日  
※平年値は最高値と最低値を除く過去10年の平均 ※あきたこまちRはあきたこまちとの比較

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m <sup>2</sup> )		葉齢(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまちR	30.3	29.5	166	196	7.3	7.0	40.2	40.5
(慣行)	29.2		156		7.2		38.7	
(側条ペースト等)	30.8		171		7.3		41.0	
前年比(差)	98%		77%		-0.1 葉		95%	
平年比(差)	103%		85%		0.2 葉		99%	
たつこもち	35.5	32.8	236	205	7.6	7.2	41.3	37.6
きぬのはだ	33.2	32.1	149	213	7.8	7.5	38.4	37.5
ときめきもち	29.5	30.0	151	202	7.5	7.1	38.5	38.6
サキホコレ	30.5	31.4	148	296	6.9	7.7	43.7	41.9

### 2. 今後の技術対応

#### 1) 水管理

「上位葉の葉先の黄化」「発根が少ない」「葉が細い」などの還元障害の症状により、分けつの発生が少ない圃場では、晴天日に3日~4日程度落水してから水を入替え、茎数確保に努めてください。また、葉色を除いた生育量が極端に少ない圃場は、硫酸を10a当たりN成分量で1.0kg程度を目安に追肥を実施してください。

なお、順調に茎数が確保されている圃場については、葉齢9葉を目安に中干し・溝切りの準備を進めてください。

#### 2) 病虫害防除

##### ・イナゴ

現在5mm~1cm程度のイナゴが確認されております。食害が目立つ場合は、畦畔沿いにつぎの薬剤を散布し防除してください。

- ①「トレボン粉剤DL」2~3kg/10a      ②「トレボン乳剤」1,000~2,000倍

**※ 圃場での「ばか苗」は、見つけしだい抜取りをよろしく願います。**

「水稻技術情報」<https://www.ja-ogata.or.jp/farming2/>をホームページで閲覧の際は、これまで必要だったパスワード入力なしで閲覧可能になりました。※水稻以外の技術情報は、パスワードの入力が必要です。